

しが ネイチャーポジティブ ネットワーク

自然・人・社会が、ともに豊かになるために

滋賀の豊かな自然を次の世代へ引き継ぐため、
立場を超えてつながる、生物多様性のネットワーク。

蓬萊山から望む琵琶湖 Mother Lake Biwa

琵琶湖は約400万年の歴史をもつ、日本最古の湖です。古くから人々の暮らしや文化を支え、「マザーレイク」として近江の歴史を育んできました。同時に、琵琶湖固有種をはじめ多様な生き物が共存しています。湖と、森や田んぼ、川がつながることで、魚類、鳥類、昆虫など、そして我々人も含めた多くの命が支えられています。生物多様性の宝庫である琵琶湖を守ることは、自然と人の関係を未来へつなぐことでもあります。

① しがネイチャーポジティブネットワークとは？

『自然共生サイト』を核とした多様な主体がつながるネットワークです。



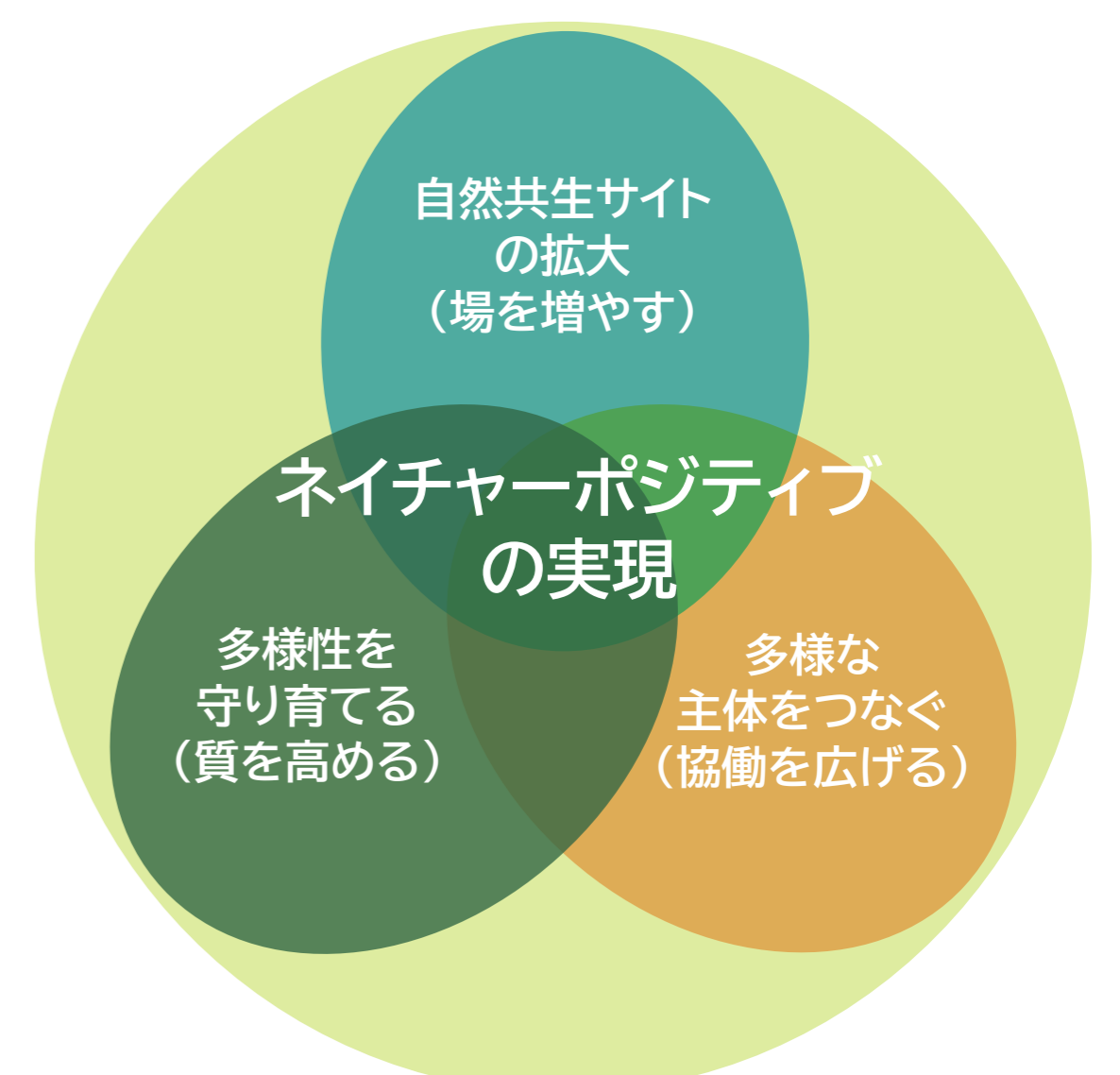
滋賀県は「生物多様性しが戦略2024～自然・人・社会の三方よし～」に基づき、ネイチャーポジティブの実現に向け、生物多様性の保全と社会・経済基盤を確保する取組を進めています。その中核的な取組として、企業や地域団体等の多様な主体による持続的な生物多様性の取り組みを促進することを目的に、『自然共生サイト』を核とした「しがネイチャーポジティブネットワーク」を令和7年8月26日(火)に立ち上げました。

② しがネイチャーポジティブネットワークが目指すのは？

『自然共生サイト』の連携により、生物多様性の維持向上を目指します！

しがネイチャーポジティブネットワークの強みは、『自然共生サイト』を核に多様な主体が連携できることです。意見交換や相互の現地視察、調査研究などが活性化することで、各主体が保全する地域の生物多様性の維持向上が図れます。

また、『自然共生サイト』の認定数を増加させることは、30by30達成に寄与し、ネイチャーポジティブの実現に近づきます。生物多様性の保全活動や自然共生サイトに関心を持つ方が、ネットワークを情報収集の場として活用いただくことで、新たな自然共生サイトの創出に貢献していきます。



※ネイチャーポジティブとは「自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させる」ことを意味しています。

③ しがネイチャーポジティブネットワークの取組み

活動報告 第1回現地見学会&意見交換会 in 龍谷の森

2025年11月17日、龍谷大学「龍谷の森」にて、第1回目となる現地見学会・意見交換会を開催しました。企業、地域団体、金融機関、行政など、自然共生や生物多様性に関心をもつ約60名が参加する、大規模なイベントとなりました。

当日は、龍谷の森の歴史や取組みを学びながら実際に森を歩く現地見学と、ネイチャーポジティブをテーマとした講演、グループディスカッションによる意見交換を実施しました。参加者からは、「実際に自然共生サイトの現地を見れた点が良かった」、「多様な主体が連携・協働して保全することが重要」等の意見が聞かれ、今後の連携や継続的な取組について考える貴重な機会となりました。



しがネイチャーポジティブネットワークでの取組予定

しがネイチャーポジティブネットワークでは、今後も参加者で意見を出し合いながら様々な取組みを検討していく予定です。

- 参加者による意見交換会(取組み事例や生き物情報の共有など)
- 自然共生サイトの現地見学会(県内の自然共生サイトを実際に見学)
- ネットワーク内での情報交換(環境学習の開催情報の共有など)
- 地域間の連携による面的な拡大(サイト間での連携による活動の実施など)
- 企業、大学等との連携(県内の大学や研究機関との共同活動など)

④ しがネイチャーポジティブネットワーク参加者

2026年1月現在、31の主体が参加しています。

IHI	サカタインクス	とーく
旭化成	サントリーホールディングス	長浜市役所
大津市役所	滋賀銀行	日本電気硝子
学校法人立命館	積水樹脂	パナソニック
叶匠寿庵	ダイキン工業	東近江市役所
上山町神明里山ともいきの会	ダイハツインフィニアース	日野町役場
木下カンセー	ダイフク	野洲川クリーン活動
草津市役所	太陽生命保険	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会
甲賀市役所	高島市役所	竜王町役場
甲良町役場	たねや	龍谷大学
		滋賀県庁

一緒に生物多様性保全に取り組まませんか？

『自然共生サイト』への申請・認定を考えている方をはじめ、参加いただける企業、地域団体等を随時募集しています。
詳しくは、滋賀県ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shizen/345813.html>

